

1. 科目名 ( 単位数 )	ソーシャルワークの理論と方法I ( 4 単位 )		3. 科目番号	SSMP2157 SNMP3357 SCMP2157 SBMP2157 SPMP2157 SSMP3157 PSMP2457
2. 授業担当教員	三田 真外			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	<p>本科目は、「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）と、様々な実践モデル及びアプローチについての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術を学習する。また、ケアマネジメントや集団を活用した支援、コミュニティワーク等の理論と展開方法、専門職に必要な、スーパービジョンやコンサルテーションの専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>			
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.人と環境との相互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。</li> <li>2.ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。</li> <li>3.ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。</li> <li>4.コミュニティワークの概念とその展開について理解する。</li> <li>5.ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。</li> </ol>			
9. アサインメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	<p>レポート課題 ( 1500 字以上 ) と確認テストを数回実施する。 ※レポートの作成方法・構成等の詳細については授業にて説明する。</p>			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『ソーシャルワークの理論と方法 ( 共通科目 ) 最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座共通科目②』中央法規出版、2021 年 1 月</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5 つの目標について理解し、説明することができたか。( 知識・理解 )</li> <li>・ 5 つの目標について思考し、考察を深めることができたか。( 思考・判断・実践 )</li> <li>・ 5 つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。( 関心・意欲・態度 )</li> </ul> <p>○評定の方法 レポート課題 ( 25% ) 定期試験 ( 50% )、受講態度 ( 25% ) による総合的評価</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は上記の目的のため、下記の事を守ることが期待されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 遅刻、欠席の無いようにすること。やむを得ず欠席する ( した ) 場合は書面で教員に届け出ること。</li> <li>② レポートの提出期限を遵守すること。提出期限後の提出は減点の対象となる。</li> <li>③ 私語や居眠り、学習テーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業を妨げる行為を禁止する。違反者は受講態度で減点の対象となる。</li> <li>④ 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であっても F 評価になるので注意すること。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	初回の講義で発表する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポート課題についての説明	事前学習	シラバスを持参する。事前に講義概要、シラバスについて目を通しておく。	
		事後学習	ソーシャルワークの理論と方法Iのねらいについて講義用ノートにまとめる。	
第 2 回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク ( 1 ) ソーシャルワーカーが学ぶ理論・システム理論・生態学理論	事前学習	教科書の pp.1~21 を読んでくること。	
		事後学習	ソーシャルワークの理論について、講義の要点をノートにまとめる。	
第 3 回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク ( 2 ) バイオ・サイコ・ソーシャルモデル	事前学習	教科書の pp.22~27 を読んでくること。	
		事後学習	ソーシャルワークモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。	
第 4 回	人と環境の相互作用に関する理論とソーシャルワーク ( 3 ) ミクロ・メゾ・マクロソーシャルワーク	事前学習	教科書の pp.28~41 を読んでくること。	
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロのソーシャルワーク視点について、講義の要点をノートにまとめる。	



第5回	ソーシャルワークの過程(1) ケースの発見・インテーク	事前学習	教科書の pp.42~57 を読んでくること。
		事後学習	ケースの発見方法とインテークについて、講義の要点をノートにまとめる。
第6回	ソーシャルワークの過程(2) アセスメント	事前学習	教科書の pp.58~75 を読んでくること。
		事後学習	アセスメントについて、講義の要点をノートにまとめる。
第7回	ソーシャルワークの過程(3) プランニング	事前学習	教科書の pp.76~93 を読んでくること。
		事後学習	プランニングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第8回	ソーシャルワークの過程(4) 支援の実施とモニタリング	事前学習	教科書の pp.94~105 を読んでくること。
		事後学習	支援実施とモニタリングについて、講義の要点をノートにまとめる。
第9回	ソーシャルワークの過程(5) 終結・評価・アフターケア	事前学習	教科書の pp.106~119 を読んでくること。
		事後学習	支援の終結と結果評価、アフターケアについて、講義の要点をノートにまとめる。
第10回	中間まとめ① 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第1回から第9回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第11回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(1) 治療モデル・ストレングスモデル・生活モデル	事前学習	教科書の pp.120~127 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第12回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(2) 心理社会的アプローチ・機能的アプローチ・問題解決アプローチ・課題中心アプローチ	事前学習	教科書の pp.128~141 を熟読し、モニタリングについて理解する。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第13回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(3) 行動変容アプローチ・認知アプローチ・危機介入アプローチ・エンパワメントアプローチ	事前学習	教科書の pp.142~159 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第14回	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ(4) ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ・さまざまなアプローチ	事前学習	教科書の pp.160~185 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークアプローチについて、講義の要点をノートにまとめる。
第15回	ソーシャルワークの面接 面接の意義と目的・方法	事前学習	教科書の pp.186~209 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの面接について、講義の要点をノートにまとめる。
第16回	ソーシャルワークの記録 記録の意義と目的・内容	事前学習	教科書の pp.210~239 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルワークの記録について、講義の要点をノートにまとめる。
第17回	ケアマネジメント(1) 原則	事前学習	教科書の pp.240~244 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの原則について、講義の要点をノートにまとめる。
第18回	ケアマネジメント(2) 意義と方法	事前学習	教科書の pp.245~255 を読んでくること。
		事後学習	ケアマネジメントの意義と方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第19回	グループを活用した支援(1) 意義と目的	事前学習	教科書の pp.256~267 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第20回	グループを活用した支援(2) 展開過程・セルフヘルプグループ	事前学習	教科書の pp.268~279 を読んでくること。
		事後学習	グループワークの展開過程について、講義の要点をノートにまとめる。
第21回	中間まとめ② 確認テスト・グループディスカッション	事前学習	第10回から第20回までの講義要点の再確認をしておくこと。
		事後学習	ここまでの講義内容を整理し、理解を深めること。
第22回	コミュニティワーク(1) コミュニティワークの意義と目的	事前学習	教科書の pp.280~285 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの意義と目的について、講義の要点をノートにまとめる。
第23回	コミュニティワーク(2) コミュニティワークの展開	事前学習	教科書の pp.286~294 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの展開について、講義の要点をノートにまとめる。
第24回	コミュニティワーク(3) コミュニティワークの理論的系譜とモデル	事前学習	教科書の pp.295~301 を読んでくること。
		事後学習	コミュニティワークの理論的系譜とモデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第25回	ソーシャルアドミニストレーション ソーシャルアドミニストレーションの概念と意義	事前学習	教科書の pp.302~317 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアドミニストレーションの概念

	実践モデル		と意義・実践モデルについて、講義の要点をノートにまとめる。
第26回	ソーシャルアクション ソーシャルアクションの概念と意義・コミュニティ オーガナイズ	事前学習	教科書の pp.318～339 を読んでくること。
		事後学習	ソーシャルアクションの概念と意義について、講義の要点をノートにまとめる。
第27回	スーパービジョンとコンサルテーション(1) スーパービジョンの意義・目的・機能	事前学習	教科書の pp.340～344 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョンの意義・目的・機能について、講義の要点をノートにまとめる。
第28回	スーパービジョンとコンサルテーション(2) スーパービジョン関係・形態・実施	事前学習	教科書の pp.345～350 を読んでくること。
		事後学習	スーパービジョン関係・形態・実施について、講義の要点をノートにまとめる。
第29回	スーパービジョンとコンサルテーション(3) コンサルテーションの意義・目的・方法	事前学習	教科書の pp.351～354 を読んでくること。
		事後学習	コンサルテーションの意義・目的・方法について、講義の要点をノートにまとめる。
第30回	まとめ	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点を箇条書きにする。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			